

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公開番号】特開 2019-140194 (P2019-140194A)
 【公開日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-034
 【出願番号】特願 2018-20797 (P2018-20797)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 21/02 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 5 日 (2021.1.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

本発明の第 6 の局面は、本発明の第 5 の局面において、

前記サンプリング周期制御ステップは、前記時系列データの種別を相互に関連づけて記憶する要因関連テーブルを用いて、前記他の時系列データを求めるときのサンプリング周期を前記異常周期に制御することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 2 】

サンプリング部 1 1 は、基板処理装置 2 0 における物理量の測定結果に基づき時系列データ 7 を求める。より詳細には、サンプリング部 1 1 は、基板処理装置 2 0 で得られた測定データからある時間間隔（以下、サンプリング周期という）でデータを抽出することにより、時系列データ 7 を求める。サンプリング周期制御部 1 8 は、サンプリング部 1 1 で用いられるサンプリング周期を時系列データ 7 ごとに制御する。データ記憶部 1 2 は、サンプリング部 1 1 で求めた時系列データ 7 と、時系列データ 7 の期待値データである基準データ 8 とを記憶する。基準データ 8 には、例えば、多数の時系列データの中で期待値データとして最適と判断された他の時系列データが使用される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 6 】

次に、データ記憶部 1 2 は、ステップ S 1 0 3 で求めた複数の時系列データ 7 を記憶する（ステップ S 1 0 4）。次に、スコア計算部 1 3 は、データ記憶部 1 2 に記憶された複数の時系列データ 7 のスコアを求める（ステップ S 1 0 5）。ステップ S 1 0 5 において、スコア計算部 1 3 は、各時系列データ 7 と対応する基準データ 8 とを比較することによりスコアを求める。次に、結果表示部 1 4 は、ステップ S 1 0 5 で求めたスコアに基づく

画面を表示する（ステップ S 1 0 6）。結果表示部 1 4 が表示する画面は、時系列データ 7 のスコアに基づく限り任意でよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 1】

ステップ S 1 3 6 または S 1 3 7 で Y e s の場合、サンプリング周期制御部 1 8 は、時系列データ S Q 3 を求めるときのサンプリング周期を正常周期に制御する（ステップ S 1 3 8）。ステップ S 1 3 8 において、サンプリング周期制御部 1 8 は、サンプリング周期定義テーブル 1 6 c から時系列データ S Q 3 の種類に対応した正常周期を読み出し、次回以降に時系列データ S Q 3 を求めるときのサンプリング周期を読み出した正常周期に設定する。次に、サンプリング周期制御部 1 8 は、図 8 に示すステップ S 1 1 9 と同様に、要因関連テーブル 1 7 を参照して、必要に応じて他のサンプリング周期を正常周期に制御する（ステップ S 1 3 9）。サンプリング周期制御部 1 8 は、ステップ S 1 3 4 または S 1 3 9 を行った後、もしくは、ステップ S 1 3 2、S 1 3 5 または S 1 3 7 で N o と判断した後に、ステップ S 1 3 0 を終了する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記サンプリング周期制御ステップは、前記時系列データの種別を相互に関連づけて記憶する要因関連テーブルを用いて、前記他の時系列データを求めるときのサンプリング周期を前記異常周期に制御することを特徴とする、請求項 5 に記載のデータ処理方法。